



# ND育友会通信

NO. 6

2026年(令和8年)3月1日発行

## 会長挨拶

京都ノートルダム女子大学ND育友会  
会長 本波 佳由



卒業生・修了生のご家族の皆様、お嬢様のご卒業・ご修了を心よりお祝い申し上げます。また全保証人の皆様の今年度のND育友会へのご支援・ご協力に役員一同を代表し、厚く御礼申し上げます。

今年度は次年度以降の募集停止という出来事に始まりました。私自身、本学の卒業生であり、大学の将来像を描ける活動に微力ながらご協力できればという思いで、お役をお引き受けしたばかりのことでした。在学生の皆さんと同様、母校がなくなってしまう悲しみを重く受け留めながら、今年度入学されたお嬢様方が卒業されるまで、ND育友会として最大限の学生生活の応援、支援を行えるよう方向づけたいと考えました。一人でも多くの保証人の皆様、ND育友会に関心を寄せていただきご参加いただくことが、お嬢様方のよりよい学生生活を支え続けることに繋がるという視点に立ち、総会や教育懇談会では、会場への参加が叶わない保証人の皆様にはオンラインを利用した参加をご案内させていただきました。次年度以降もND育友会の活動を通して、お嬢様の学生生活を垣間見、親子で語りあう機会としていただけることを願っています。

また保証人の皆様には、お嬢様に「ノートルダムで学ぶ誇り、喜び」をお伝えいただくことをお願いしたいと思います。ノートルダムの「徳と知」の精神、そしてミッションコミットメント「尊ぶ・対話する・共感する・行動する」は、ノートルダムで学ぶからこそ体得できるものであり、日常生活や今後の社会での活躍にこれらを反映させることができる価値ある存在となれると考えられるからです。残念ながら大学の歴史にはピリオドが打たれることとなりますが、お嬢様と保証人の皆様、ノートルダムの精神を誇りとして実践し、広めていくことには期限はないのです。ノートルダムで学び育まれることに自信をもつことで、募集停止で生じたマイナーなイメージや困難を希望と誇りに変えたいものです。

最後に、今年度温かいご指導、手厚いサポートをいただきました教職員の皆様に深く感謝を申しあげて挨拶とさせていただきます。

## 学長挨拶

京都ノートルダム女子大学  
学長 中村 久美



激動の2025年度が終わろうとしています。ND育友会の皆様には本当にご心配をおかけし、また何かと大変お世話になった1年でした。

大学学生募集停止の発表後、連休前から6月の総会にかけて開きましたND育友会の皆様への説明会では、様々なご意見を頂戴しまして、それへの対応や学生支援の取り組み状況をUNIPAなどでお知らせするなどいたしました。会長様をはじめ理事の皆様を中心に、大学事情をご理解いただき、その後の大学活動を支えていただきました。

夏休み以降、授業を受ける学生の様子も落ち着き、ND祭やカトリック女子大学総合スポーツ競技大会、NDクリスマスなどの行事も従来通り開催できました。授業や有志による学生の企業や地域との連携活動はむしろこれまで以上に活発で、大学ホームページにもその都度発信しております。これから1学年ずつ減っていくこととなりますが、できるだけ今年度と同等の活動ができますよう、体制維持に努めてまいります。私議ながら

前学長が退職された2019年10月末以降、学長代行を務め、翌年1月29日に正式に学長を拝命、前学長の残余期間を務めた後、2020年4月より2期6年、学長を務めました。学長就任直後から、感染対策や遠隔授業の提供など、コロナ禍対応に追われつつも、2009年より赤字続きの大学経営の立て直しが急務でしたので、学生募集の活性化をにらんだ改組改革と、大学ブランドの再構築に明け暮れる毎日でした。しかし、時すでに遅し。

学長就任以来、大学総動員体制で臨んだ毎年の入試・広報でしたが、入学者を劇的に伸ばすには至りませんでした。今年度スタートした女性キャリアデザイン学環は、本学女子教育の集大成として、国内外の研修やフィールドワークなどの様々なプログラムを準備し肝いりで開設しましたが、残念ながら、今年度入学生が最初で最後の学年となりました。私は、6年と71日という異例の在職期間を終え、この3月で学長を退きます。

ND育友会の皆様には、在任期間中、大学と学生を支えていただき、本当にありがとうございました。引き続き、大学閉校まで学生をお見守りいただきますようお願い申し上げます。

## 役員コラム 「ケセラセラ～なるようになるさ～」

ND育友会監事 北庄司 智美



京都ノートルダム女子大学ND育友会は、教職員の皆様よりご支援を受け、運営しています。我が子が同じ大学で学ぶ保証人同士、今後も「自分ごと」として関わっていきたく存じます。

私の大学時代には存在していなかった言葉を娘からいくつも聞きます。親世代の知らないことを子世代はたくさん知っていること、大学でも多くの経験を積み重ねていることを誇りに思います。

我が家の四姉妹には、食の好みから進路についても、まず「自身はどうしたいのか」を幼少期から聞いてきました。時には迷ったり、よそ見をしたり、つまずいても立ち上がり、今の時代に向き合い、自分のペースで自分らしく、後悔のない時間を送ってほしいと願っています。本心は日々葛藤ですが、娘の人生は娘だけのものだと思っています。

親もしんどく辛い時間があり、娘を困らせる時があるかもしれませんが、正直にその状態を伝えてみてはいかがでしょうか。一番身近な大人がそんな姿を見せてもいいですし、完璧な人間なんていないわけですから、親もまだまだ人生勉強中の身と理解できるきっかけになると思います。

まだ夢の途中である学生をND育友会一丸となって、ご一緒に応援できれば幸いです。引き続き皆様の御心を寄せいただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

娘へ  
あなたは私の誇りです。  
どんな時も何があっても私はあなたの味方です。  
頑張り過ぎる時があります、たまには休んでください。

# 2025年度教育懇談会を開催しました 9月27日(土) 本学NDホールにて

## 【第1部】▶ 講演「卒業生が語る 仕事・家庭・子育て ～ノートルダムでの学びから得られたヒント～」

講師：野添 美智子 氏 (1987年英語英文学科卒)  
(元・三井住友海上火災保険株式会社  
関西総務部人事総務 上席課長 兼 次長)

## 【第2部】▶ 個別相談会 就職に関するご相談 (希望者)



### 講演会ご感想 ～アンケートより～

- 生身の経験をお伝えくださって、私も娘も考える機会を頂きましたありがとうございました。
- 子育てを振り返ると後悔が多いですが、今日のお話で前向きになりました。
- とても良い講演でした。「一生学ぶ」は私もスローガンとしていきたいところです。子どもにも大学でしかできない事をたくさん実践し、将来に向けて前向きに考えてもらえよう、家で話してみたいです。
- このようにご活躍されている卒業生のお話をきけて大変意義深かったです。

## 講演会レポート ～「ND愛を共通言語」に結ぶ縁～

ND育友会の主催行事として毎年開催されてきた「教育懇談会」は、後援会として発足した当時「大学と家庭との連絡をはかるための事業」として「保護者(当時)対象の講座や講演会を開催する」と記されています。以来、本学京都会場で講演会の他、教職員の方々にも協力していただき、個別相談会を開催させていただいております。

今年度は、ちょうど企画内容を進める段階で「来年度からの学生募集停止」という報を受け、今この時に何を発信するのが良いだろうかと検討した結果、本学卒業生である、野添美智子氏のご協力を仰ぐことができ、今回の講演会が実現しました。

本学での学びから得られた自信や心の在り方など、野添氏ご自身の子育てやお仕事の中で、どんな気付きがあり活かしてこられたのか、これからの時代に活躍してほしい学生とその親御様にエールを贈れるような内容で、とお願いしたところ「ND愛を共通言語」にND育友会も学生もひとつになれるような講演になれば…とのお言葉をいただき、素晴らしい講演会を開催することができました。大学時代の思い出や心に残る先生とのエピソードに始まり、会社員時代のこと、娘さんやご主人のお話など、また講演後の質疑応答では座談会形式で和やかに対談していただきました。

このような行事にはたくさんの方に参加していただきたいのですが、残念ながら当日会場にお越しいただけない場合もあるかと存じます。本会でも数年前からオンデマンドでの提供を検討し、今回の教育懇談会で初のYouTube公開を行いました。10月中旬から約1カ月間会員のみ視聴可、期間限定公開でしたが、ご利用いただけましたでしょうか。来年度の行事形態については今後協議してまいります。会員の皆様のご要望に応じて検討してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、講演動画は現在非公開ですが、今からでも視聴をご希望の方には個別に対応させていただきます。事務局までメールでお問合せください。(ND育友会事務局)

【お問合せ窓口】  
ikuyukai@notredame.ac.jp



## Notre Dameの精神を伝える行事への支援

ND育友会事務局

本誌でご報告した学生支援の他にも、皆様のご支援のお蔭で以下の代表的な行事への支援も継続して行うことができました。これら詳細については、2026年度総会の決算資料にてご報告させていただきます。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

### ●卒業記念品(卒業リング)等

昭和40年、当時の後援会(現ND育友会)が「何か記念品を贈ることで本会との関係を意義あらしめたい」と始められて以来、途切れることなく贈り続けているリングの贈呈を行いました。大学院生についてはCROSSボールペン(学名入り)を贈呈しました。

### ●クリスマスイルミネーション(2025年度の点灯期間：12月1日～26日)

カトリック教会では12月24日までの4週間を「待降節」と言い、イエス・キリストが誕生するクリスマスを待ち望み、心の準備をする期間に入ります。これに合わせて大学でもイルミネーションが点灯されます。本会では本年度も、大学キャンパス西側道路に面したヒマラヤ杉へのLED設置にかかる費用を支援しました。イエス・キリストの母である聖母マリアの名前をいただいている本学にとって、クリスマスが大切な行事であること、特に本学で学ばれているお嬢様方には、ただの季節イベントではないクリスマスの意味を、行事を通じてあらためて感じていただければと願っております。





# ND育友会の支援で充実した学生生活を ～学生活動支援～

学生課

本学では、約30団体のクラブ・同好会・サークルがあり、和気あいあいと活動しております。ND育友会からの助成金は、日々の活動資金をはじめ、茶道部のお茶会や室内管弦楽部の定期演奏会などの行事開催費用や日々指導いただいている講師への謝礼金など多岐にわたる形で支援いただいております。そのおかげもあり、クラブ加入率は年々増加し今年度は43.2%の学生が積極的に課外活動に励んでいます。

しかし、昨年4月に本学の募集停止が発表され、学生からは不安の声が届きました。そんな中でもND育友会をはじめ地域の皆様からの温かいご支援もあり、全クラブ団体が協力し大学やクラブ活動全体を盛り上げるべく7月に総クラブ主催の学生交流イベント「ダム女夏祭り2025」を、また10月にはND祭を開催することができました。ND祭においてはご来場いただいた多くの方々に学生が元気に頑張っている姿を見ていただけたのではないかと思います。

また他の学生支援事業としては、入学した全学生対象に大学が保険料を負担している学生教育研究災害傷害保険(学研災)、修学の熱意があるにもかかわらず家計急変のため経済的に学業の継続が困難になった学生に学費の一部を給付するND育友会特別援助奨学金などにも助成いただいております。学生にとってこれから卒業までの大学生活が有意義なものとなり、充実した大学生活として思い出に残るものとなれば幸いです。

これまで多岐にわたり、ご支援いただきましたこと心より感謝申し上げます。



## 完売御礼！ 「オンライン」で進化した ND育友会バザー



ND育友会理事 松下 友美

今年の育友会は、初の試み「オンラインバザー」を開催しました。「在庫を残さない」を目標に、まさに試行錯誤の連続で、準備段階ではメンバーと知恵を絞る日々でしたが、皆様の温かいご協力のおかげで無

事完売し、大成功を収めました。

私は、当日販売のアロマサシェを担当させていただきました。どなたでも安心して使用していただけるよう、安全性を最優先にした調香とドライハーブで香りの癒しをお届けしました。お手にとられた方から「いい香り」と言っていただけてホッとしました。

会場に設けた憩いの場「交流サロン」では、休憩や談笑の場としてたくさんの方にご利用いただきました。当日は交代で娘たちの様子を見に行ったり、模擬店をまわったり、楽しみつつ一致団結して親睦も深める充実した一日となりました。

ご協力いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。これからも、品格そのままに、伝統をアップデートしながら新しい育友会のカタチで、学生達の輝く毎日を、微力ながら全力でサポートしていきたいと思っております。

## ND育友会交流サロンを 開催しました

### ND祭参画行事：10月25日(土)

本年度のND祭に於いては、事前予約販売を基本に、寄付金付き大学オリジナル商品による「オンラインバザー」を実施させていただきました。

在学生の親御様だけでなく、同窓会や教職員の皆様にもご協力を賜り下記のとおり収益を上げることができました。こちらは今後の学生活動を支援するための原資として、ND育友会「学生支援助成費」の補助に充てさせていただきましたことをご報告します。(ND育友会事務局)



### ～オンラインバザー収益のご報告～ 2025年度ND祭オンラインバザー収益 163,981円

収入の部		支出の部	
予約販売	260,600円	商品仕入れ	223,820円
当日販売	146,000円	パンフレット広告	20,000円
当日寄付	1,201円		
合計	407,801円	合計	243,820円



## 学生相談室より ～心と体のサポート活動～

学生相談室長 薦田 未央

今年度もND育友会の皆様には、当室の活動にご理解ご支援を賜りましてありがとうございました。年度初めには閉学の告知があり、在学生、保証人の皆様はもとより、同窓会の皆様におかれましても驚かれ、さまざまなお気持ちでおられたと思います。学生相談室では、揺れる気持ちを抱える学生の様子に留意しながら相談支援を行ってまいりました。平素より公認心理師・臨床心理士の専門相談員が、在学生の心の健康を支えるために個別相談を中心とした心理支援を行っておりますが、より一層、学内教職員と連携しながら、学生が安心して学業や課外活動に取り組めるサポートを行ってまいりました。おかげさまで、後期のキャンパス内は少しずつ落ち着いてきているように感じています。

一方で、年々学生の悩みや困りの多様化は進んでおり、外部機関との連携も含め多層的な支援が求められる状況は続いております。今年度も貴会のご支援により、学生同士のつながりをサポートするグループワークHanaの年間17回実施や、潜在的にストレスを抱えた学生へ精神的健康維持のための予防的ケアを進めることができています。昨年度、好評であった「ストレスケア」ワークショップは年2回開催とし、再び佐土原秀子先生(A-yoga認定インストラクター)をお招きできました。第1回(11月)の参加学生からは「集中することを身体から感じる事ができた」「日常に取り入れ実践したい」という感想があり、第2回(2月)も楽しみにしているところです。

今後も学生の皆さんが心穏やかに充実した学生生活を送れるよう、学生相談室スタッフ一同努めてまいります。引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## キャリアセンターだより



キャリアセンター長 鷲見 朗子

### 2025年度卒業生の就職活動について

2025年度卒業生(2026年3月卒業)の就職活動は、学生側に有利な売り手市場が継続しており、全体的な傾向は昨年度までと大きな変化はありませんでした。

#### ● 学生の動き

多くの学生が、卒業後の進路選択に向けた準備を始めるのは3年生の春です。キャリアセンターでは、3年生5月のキャリアガイダンスを進路支援のスタートと位置づけています。ガイダンス後、6月以降に行う「3年生全員面談」では、キャリアセンター担当者が全学生と個別に面談し、希望や不安を丁寧に聞き取りながら、進路選択に向けた助言を行っています。

#### ● 一般企業への就職

一般企業志望の学生は、3年生の夏から秋にインターンシップや「オープンカンパニー」へ参加し、業界研究を進めます。多くの企業が参加者を早期選考の対象としているため、就職活動における重要なステップとなっています。

#### ● 一般企業以外の就職活動

公務員試験は年々早期化が進み、多くの自治体で5月上旬に第一次選考が行われています。受験者減少により倍率は低下傾向にあり、中には秋・冬以降まで試験を継続する自治体もみられます。専門職(保育、心

理、福祉、司書など)を目指す場合は、行政職とは別の要件や試験科目が必要になるため、十分な情報収集と計画的な準備が重要です。

私立幼稚園・保育園の就職活動では、3年生の後期から園見学や就職フェアでの情報収集を始め、4年生の春夏に採用試験を受け、内定という流れが一般的です。専願制の園も多いため、受験先の選定は慎重に行います。ただし、採用時期は園によって大きく異なり、4年生秋以降に採用を開始する園もあり、卒業論文提出後に就職先が決定する学生もいます。実習先の園に就職する場合も、かならず求人票で労働条件を確認したうえで判断するよう指導しています。

#### ● 本学のキャリア支援

本学では、教職を目指す学生はND教育センターが、それ以外の進路についてはキャリアセンターが、各学科・学環と連携しつつ支援を行っています。障がい等により一般的な就職活動が難しい学生も在籍しており、学内外の関係部局と協力しながら、個々の状況に応じた支援を行っています。

#### ● 就職活動におけるご家族のかかわり

2024年度卒業生を対象としたアンケートでは、就職活動におけるご家族との関わりで「よかったこと」として、回答者の半数近くが「本人の意思を尊重し、活動を肯定してくれたこと」と回答し、最多となりました。次いで「普段と同じ態度で見守り、聞き役に徹してくれたこと」「金銭的・物質的援助」「精神的な支えや励まし」「食事・生活面のサポート」が続いています。この結果からは、ご家族の存在が学生にとって大きな支えとなっていることが分かります。就職活動ではご本人の自主性を尊重しつつ、精神面や生活面でバックアップしていただくのが理想的と言えるでしょう。ただし、状況によっては一歩踏み込んだサポートが必要な場面もございます。キャリアセンターでは保証人様からのご相談も随時受け付けておりますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

※今回、1～3年次生の保証人様を対象に、キャリアセンター発行のご案内を同封させていただきました。キャリアセンターの支援内容やお問合せ先等が掲載されていますので、ぜひご覧ください。(ND育友会事務局)

